



## NPO 法人日本防火技術者協会 平成28年度定時総会報告

日時：平成28年2月1日(月)  
14:00~14:30

場所：東京理科大学 森戸記念館

### 配布資料

- 1) 理事長挨拶
- 2) 平成27年度事業報告書
- 3) 平成28年度活動計画書
- 4) 平成27年度会計報告
- 5) 平成28年度予算
- 6) JAFPE 防火技術者認定者の報告等
- 7) その他

### 〔総会参加者〕

会員数：144名(総会の定足数73名)

出席者：出席43名、委任状34名  
合計77名

### 〔審議事項〕

- 1) 議長の選任
- 2) 議事録署名人の選任
- 3) 第一号議案 平成27年度事業報告
- 4) 第二号議案 平成27年度会計報告の承認、監査報告
- 5) 第三号議案 平成28年度事業計画
- 6) 第四号議案 平成28年度予算の承認
- 7) 第五号議案 定款改正の承認
- 8) 第六号議案 次期理事、監事の承認
- 9) JAFPE 防火技術者 CPD 規則等の報告

### 〔議事の経過の概要及び議決の結果〕

出席者数、委任状数を合わせて総会の定足数を満たし、総会が成立した。審議に先立ち福井潔理事長の挨拶があった。

#### (1) 議長の選任

上原茂男氏を議長に選任した。

#### (2) 議事録署名人の選任

笠原勲氏、長谷川晃一氏を選任した。

#### (3) 第一号議案 平成26年度活動報告

内容は下記。出席者全員異議なくこれを承認した。

#### (3.1) 防火技術に関する講習会などの事業 防火研修会「高齢者」

- ① 5/16、米沢市、47人
- ② 11/6、名古屋市、58人

#### (3.2) 防火技術に関する広報事業

ホームページによる広報活動、日本防火技術者協会ニュースを2回発行。

#### (3.3) 防火技術の開発・教育に関する調査・研究などの事業

- ① 見学会「等々力陸上競技場」川崎市、26人
- ② 「としまエコミューゼタウン」豊島区、24人
- ③ シンポジウム「性能設計シンポジウム報告会」新宿区、38人

- ④ 職能WG6 回開催、新宿区、各回6~8人
- ⑤ 高齢者WG、7回開催、新宿区、各回8~10人
- ⑥ ケーススタディWG、3回開催、千代田区、14人
- ⑦ ルートC標準化WG1回開催、千代田区、17人
- ⑧ ELV避難WG、10回開催、新宿区、16人
- ⑨ 排煙WG、1回開催、千代田区、13人
- ⑩ ビル内保育施設WG、4回開催、新宿区、11人

#### (3.4) 防火技術を生かした技術情報交換による防火技術者等との連携事業

- ① 日本火災学会研究発表、「高齢者施設」2編発表、米沢市
- ② 日本建築学会研究発表、「高齢者施設」3編発表、平塚市
- ③ SFPE インドネシア支部主催、「都市交通の防火」セミナー(講演)、ジャカルタ
- ④ SFPE アジアオセアニア支部交流会、ジャカルタ
- ⑤ アジアオセアニア火災科学技術シンポジウム(協賛)、つくば市
- ⑥ SFPE アジアオセアニア支部交流会、つくば市
- ⑦ 日台火災リスク安全設計ワークショップ(協賛)、新宿区

#### (3.5) 防火技術者育成及び登録事業

- ① 認定委員会の開催による JAFPE 防火技術者認定該当者の選定と登録、新宿区
  - ② 防火研修会、「FPE の職能と資格」、新宿区
  - ③ JAFPE 防火技術者の CPD 登録、日新宿区
  - ④ 認定委員会の開催による JAFPE 防火技術者認定該当者の選定と登録、新宿区
- #### (4) 第二号議案 平成27年度会計報告の承認、監査報告
- 中島秀男会計理事より説明があり、これを承認。高橋監事より監査報告がされた。
- #### (5) 第三号議案 平成28年度事業計画
- 堀田総務理事より平成27年度活動計画についての説明があり、これを承認した。

### 上原茂男 理事長 挨拶

2016年度の総会に当たり、ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、お忙しい中、2016年度の NPO 法人日本防火技術者協会と SFPE 日本支部の総会にご出席いただき、誠にありがとうございました。日本防火技術者協会は、2003年に特定非営利活動

法人として活動を開始して以来、今年で13年目を迎えました。この間、幅広い分野の防火技術者の集団として、他の学協会とは異なる立場から、防火技術者の職能の確立、国際的な連携の強化への取り組みに加えて、防火技術に関する WG 活動、防火研修会、見学会などを実施し、少しずつではありますが、防火技術の向上と社会への発信に貢献できたのではないかと考えています。

一昨年から始めました JAFPE 防火技術者の認定については、今年も新たに9名の方を認定し、認定者の合計は51名になりました。JAFPE 防火技術者は、防火に関する幅広い基礎知識と高度な専門知識を有する専門技術者として防火技術者協会が認定したものであり、職能確立に資するべく認定技術者の一層の活躍を期待するとともに、協会としても制度の維持向上に努めていきたいと考えています。その中で、CPD(継続職能研修)制度について、昨年度に細則を定め運用を開始したところです。認定技術者の皆様には、継続的に知識、技術の習得を図るとともに、制度に沿った CPD 単位の申請をお願いします。また、防火技術者という職能を社会にアピールし、技術の発展と活動の活性化を図るため、防火技術者協会賞の設立を今後検討していきたいと考えています。

国際的な連携については、昨年5月にジャカルタで、10月に筑波で、それぞれ開催されたアジアオセアニア地区の SFPE 支部交流会に参加し、共通の課題についてディスカッションするとともに技術者同士の交流を行いました。今年は、5月にワルシャワで、SFPE 主催の性能基準と性能設計法に関する国際会議の開催が予定されていますが、日本としての特色あるケーススタディーを発表すべく WG を作って対応を進めているところです。また、昨年11月には SFPE 年次総会において、日本支部が Chapter Excellence Award ブロンズ賞を、田中啓義先生が Arthur B. Guise Medal を、原田和典先生が Hat Off Award を受賞しました。ともに国際的な活動と成果が高く評価された結果であり、合わせて今後の活動への期待が込められていると考えています。グローバル化が進みボーダレスな時代となっていく中で、国境を越えた技術者同士の連携と情報の共有がますます重要なものになってきています。日本防火技術者協会も SFPE 日本支部としての位置づけを活用し、この課題に積極的に対応していきたいと思いません。

WG 活動については、本日シンポジウム



を行うエレベーター避難 WG を始めとして7つのWGが動いており、防火研修会、見学会については昨年度6回開催することができました。会員の皆様のご協力により、これらの活動も定着化しつつあり、防火技術者協会もどのように活動をしているかと模索していた時期から安定した活動を継続して行う時期に一步踏み出したのではないかと考えています。会員数、事業規模ともまだまだ小さな協会ですが、会員の皆様と力を合わせて、存在意義のある協会にしていきたいと考えておりますので、今後とも、ご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 「火災時のエレベーター利用避難」シンポジウム開催報告

2月1日(月)の総会の後に、表記のシンポジウムを下記のプログラムで開催しました。

- ① エレベーター利用避難の海外事情：篠崎正美
- ② 避難時のエレベーター新利用方式：黒田慎一
- ③ ガイドライン(案)の紹介
  - 1) ガイドラインの目的：山田茂
  - 2) 建築・設備・避難施設の計画：城明秀
  - 3) 避難誘導計画：相澤洋一
  - 4) ケーススタディ：森山博
- ④ ディスカッション：コーディネーター：関澤愛

会場定員の100名近い方にご参加いただきました。海外の法令の状況、海外で実用化された新利用方式に関する講演に続き、JAFPEで作成しているガイドライン(案)の紹介を行い、ディスカッションでは実現に向けての課題等に関して活発な議論がされました。

なお、ガイドライン(案)は9月にはJAFPEのホームページで公開する予定です。

また7月7、8日に開催される安全工学シンポジウム <http://www.anzen.org/>でもエレベーター避難に関するオーガナイズド・セッションを行なう予定です。

## SFPE「防火の性能設計における国際会議」参加報告

5月23日から25日まで、ポーランド、ワルシャワでSFPE主催の第11回性能規定と性能設計に関する国際会議が開催されました。このシンポジウムの中で開催

されるケーススタディにJAFPE日本支部としてWGを設けて準備し、参加しました。

今年からケーススタディの開催方法が変わり、3つの建物タイプが提示され、参加者はその中から任意に選んでスタディをするものとなりました。各テーマのプレゼンテーションの他に1時間のディスカッションの時間が設けられ、あらかじめ選定されたパネリストや会場の参加者からの質疑応答に重きが置かれていました。日本からは、地下駐車場をテーマに検討し会議にはWGから8名が参加しました。

日本の案は、スロープや排煙塔を使った自然排煙を活用した案で、他の案がすべて機械排煙を採用したのに対して、異色の提案であると同時に充実した検討で、会場からも称賛する発言を頂きました。詳細はいずれ防火研修会などで公表する予定です。



## 「保育施設の火災安全を考える」防火研修会開催報告

6月23日に表記の防火研修会が開催されました。参加者は約40名でした。最近急増しているビルの高層階に設置される保育施設に関して、火災安全上の問題点はないかという問題意識が出发点です。高層階から足元のおぼつかない幼児や乳児を抱いた保育士が、他の在館者と一緒になって円滑な避難をするのは困難でないかと考え、サブテーマの「待機スペースを活用した水平避難」にあるようにむしろ保育所のある階に、一時的に待機できるような安全なスペースを確保して、避難や救助の機会を待つという考え方を提案しました。

WGメンバーからの説明の後の討議では、待機スペースの取り方や、消防活動との関係などに関して活発な意見が出されました。

また保育所に限らず、設計された建物の火災安全の確保について、使用者や消防などが正しい使い方や建物管理ができない実態があるのではないかとというさらに大

きな問題が指摘されました。

WGでは今後、ここで出されたご意見を参考に考えを深め、手引きやチェックリストの形でまとめていきたいと考えています。

**主催：**(特非)日本防火技術者協会  
**共催：**東京理科大学 国際火災科学研究所  
**開催日時** 2016年6月23日(木)  
14:00~17:00

**開催場所：**東京理科大学 森戸記念館  
**参加費：**無料  
**資料代：**1000円

- 1 趣旨説明 (株)日建設計 福井 潔
- 2 ビル内保育施設の実態 (株)日建設計 古宇田智子
- (株)エフディーエム 田村 祐介
- 3 ビル内待機スペース計画のポイント (株)明野設備研究所 土屋 伸一
- 4 ビル内保育施設チェックリストの提案 (株)防災コンサルタンツ 堀田 博文

## 高齢者WG活動報告

WGは3回(2/11、4/19、6/28)、建築会館にて開催しました。

火災学会および建築学会発表内容検討、長岡市、福岡市、東京都、神戸市での防火研修会などの企画・実行計画立案(本年度より日本建築学会の中に「小規模な高齢者施設の避難安全性能向上小委員会」が立ち上がり、主として小規模な高齢者施設の夜間防火・避難のためのガイドライン作成のための活動を行っています)。

5月16、17日シティホールプラザアオーレ長岡にて開催された日本火災学会研究発表会で3編の活動成果を発表(村井、山村、栗岡)すると共に、長岡市消防本部と長岡市社会福祉協議会の支援のもと防火研修会(施設職員56名+消防職員10名参加)を行いました(実施メンバー：小林、富松、大西、村井、山村、栗岡)。

## 防火技術職能に関するWG活動報告

WGは3回(2/2、4/7、6/7)、東京理科大学にて開催しました。

JAFPE防火技術者のCPD制度の単位取得結果の提出状況を把握。

関西地区の会員対応として大阪地区WGの設立と見学会の企画の検討。

TPP成立に伴う防火分野ならびに防火技術者への影響把握と防火技術者協会が社会に提言を行う方向で試案を検討中。





# 日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会 <http://www.jafpe.or.jp/>

## 理事会等の開催報告

理事会を以下の日に実施しました。

1月13日(水)、3月1日(火)、5月9日(月)、7月5日(火)

## 会員情報

会員情報

会 員 148名  
賛助会員 8名  
学生会員 2名

新入会会員

青森県立八戸工科学院 松橋 倫久  
清水建設(株) 井戸 和彦  
東京消防庁 清水 友子  
敬称を省略させていただきました  
(2016年7月現在)



SFPE・Jニュース  
(SFPE 日本支部  
の活動 第34号)

## SFPE 日本支部

### 2016年度定時総会 開催報告

日時：平成28年2月1日(月)  
14:30~15:00

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容

- 1) 2015年度事業報告
- 2) 2016年度活動計画
- 3) その他

### 【議事の経過の概要及び議決の結果】

- 1) 国際対応活動
  - ・2015年5月29日、30日にSFPE アジア・オセアニア地区の支部交流会がジャカルタで開催され、福井副理事長、関沢理事、堀田理事が参加した。29日は交通施設の防火に関するシンポジウムが行われ、福井副理事長が日本の地下駅の設計基準について講演を行った。
  - ・2015年10月5日につくばで開催されたアジア・オセアニア火災科学技術シ

ンポジウムに合わせて、支部交流会が開催され、上原理事長、福井副理事長、関沢理事(国際担当)他数名が参加した。

・2015年10月5日につくばで開催されたアジア・オセアニア火災科学技術シンポジウム、同9日に開催された日台火災リスク安全設計ワークショップを協賛した。

・11月に開催されたSFPEの年次総会で、田中孝義氏がアーサー・グイーズメダル、原田和典氏がハットオフワード、日本支部がチャプターエクセレンスアワードのブロンズを受賞した。

### 2) 高齢者WG

活動メンバーは佐藤(主査)、笠原、栗岡、建部、富松、大西、小林(恭)、堀田、山村、村井である。また神戸大学の学生も適宜参加している。主たる活動は以下の通りである。

・WGは7回(2/4、3/4、3/20、5/8、7/17、9/18、11/30)、東京理科大学と建築会館にて開催(夜間防火・避難マニュアル、FIG 火災図上演習マニュアル、実行訓練マニュアルの検討、火災学会および建築学会発表内容検討、米沢市防火研修会、名古屋市防火研修会など：本年度より日本建築学会の中に「小規模な高齢者社会福祉施設の避難安全性能向上WG委員会」を別途立ち上げ、主として認知症高齢者グループホームの防災の実状調査を行っている)。

・5月16、17日山形大学(米沢キャンパス)にて開催された日本火災学会研究発表会で2編の活動成果を発表すると共に置賜広域行政事務組合消防本部の支援のもと防火研修会(39名参加)を行った。また日本火災学会研究発表会に合わせて、米沢市内の2箇所の高齢者施設(高齢者共同住宅・グループホーム「やまぼうし」、特別養護老人ホーム「回春堂」)を訪問し、裏日本の積雪地帯の施設の実状の把握及び施設関係者と意見交換を行った。

・8月20日に(公)東京防災救急協会の紹介で、日本認知症グループホーム協会東京支部長宮長定男氏に当WGが発行した「高齢者福祉施設の夜間火災時の防火・避難マニュアル」の感想を聞く機会と木造密集地域に立地する社会福祉法人泉湧く家グループホーム「いけぶくろの家」の視察の機会を得た。マニュアルに関しては好印象を抱いているが、小規模な施設用にはさらなる工夫が必要との御助言を頂いた。

・9月4~6日に東海大学湘南キャンパスにて開催された日本建築学会大会に最

近の研究結果を3編発表。

・11月6日に名古屋市消防局および名古屋市老人福祉施設協議会の協力を得た。名古屋市昭和消防署にて施設関係者33名、消防関係者20名の参加による防火研修会を実施。内容は、本WGの活動概要としての夜間避難を上手くいかせるための戦略について小林(恭)が、火災図上演習(FIG)の方法について富松がそれぞれ講演し、その後5チーム(各チームに消防職員が参加)に分かれてFIGを体験して頂いた。なお、名古屋開催の防火研修会では愛知工業大建部先生のご尽力を得た。

・11月26日に(公)鹿島学術振興財団第38回研究発表会にて小林(恭)が2年前に助成を受けた研究成果の発表を行い、熱心な質問に加えて、当WG活動の方向性を示唆する御意見等を頂いた。

・2016年度は、東京都と関西以外に各学会大会に合わせて長岡市と福岡市で、高齢者施設を対象とした防火研修会その他に要望のある施設を対象として出前講座を積極的に実施する予定である。さらにアンケートの分析やマニュアル類などの精査・向上を行い、施設評価に結びつける予定である。

### 3) SFPE ケーススタディ WG

・SFPE ケーススタディ WG を2015年9月に組織した。メンバーは福井(主査)、菊池、北堀、小林、新谷、清家、淡野、峰岸、森山である。

・WGはすでに3回開催し、2016年5月のSFPE性能設計に関するシンポジウムでの発表に向けて報告書の作成を目指す。

### 4) 防火技術職能に関するWG

・メンバーはオブザーバーを含み、富松(主査)、笠原、佐藤、堀田、角谷、中島、牧、小林、栗岡、福井、鈴木、原田、宇山である。また、随時、関係者の参加も得て開催している。

・WGは6回(2/13、4/9、6/23、8/18、10/21、12/11)東京理科大学小林教授室にて開催した。

・JAFPE 防火技術者の認定制度の充実とCPD 制度の運用を開始した。また検討は理事会での確認をとりながら行った。

・第3回目のJAFPE 防火技術者として11月30日応募締め切り、12月16日に認定委員会(委員長：田中、委員：矢代・小林・笠原・富松、事務局：堀田・栗岡で構成)を開催し、応募のあった9名が選出された。

・「継続職能開発」として防火技術者がその能力の維持向上、倫理や社会的責任の遂



行のためにも欠かせない CPD 制度の規定を作成し、本年度の登録を受け付けた。この制度は防火技術者としての活動状況を毎年申告し、資格取得後 5 年間に必要単位数(各種研修や業務実績など)に達しているか問われる。

• 効率的な制度運用を目指すとともに、データ蓄積後、現在の規定が協会員の実情を反映しているのか検討する予定である。

## 5) ルートCの標準化WG

• 「避難安全検証(ルートC)の標準化WG」は1/26のWGを最後に中断している。

• 約3年間で34回のWG、10回以上のSWGを開催し検討してきたが、当初想定したよりも対象範囲が広がり、現在の知見だけではまとめることが困難となった。

• 今後は、山口主査が東京理科大学との共同作業により内容を充実させ、ある程度まとまった後に本WGを再開することとした。

## 6) エレベーター・エスカレーター避難検討WG (ELV避難WG)

• メンバーは山田(主査)、相澤、大豆生田、菊地、小林、篠崎、城、関澤、添川、出口、中濱、野竹、堀内、森山、山本、吉田である。

• WGは10回(1/28, 3/4, 4/13, 5/20, 7/7, 8/4, 9/10, 10/14, 11/18, 12/15)開催した。2014年1月の活動開始からは合計19回になる。

• 高層事務所ビルの火災時に全在館者を避難階まで、乗用エレベーター、非常用エレベーター及び階段を利用することを前提に、安全かつ短時間に避難させるための「火災時のエレベーター利用避難のための設計・運用ガイドライン(案)」をまとめた。

• 2016年2月1日にシンポジウムを開催し、ガイドライン(案)はHP公開する予定である。

## 7) 機械排煙時扉開閉障害改善WG (排煙WG)

• メンバーは森山(主査)、太田、大宮、笠原、岸上、竹市、土屋、中谷、広田、水落、峯岸、山田、吉田。

• WGは1回(2/5)開催した。

• 主事会議関係者に問題提起をし、「建築設備設計・施工上の運用指針」等への記載を要望したが、具体的な対応はされていない。

## 8) ビル内保育施設の避難安全検討WG

• 最近ニーズの高まっているビル内保育施設の避難安全を確実にするための方策を検討するため新たに10月にWGを設置した。メンバーは福井(主査)、富松、小

林、古宇田、堀田、関澤、竹市、林、土屋、水落、吉田、笠原、田村。すでに4回WGを開催し、2016年春に啓発のためのシンポジウム開催を目指す。

## 9) 最新建物の見学研修会(事業WG):

• 2015年度は7月に「川崎市立等々力陸上競技場」、12月に「としまエコムーゼタウン」の見学会を開催した。

• 2016年度は、見学研修会3回開催を予定する。

## 10) 広報活動

• SFPE-J ニュースはそのまま「NPO法人日本防火技術者協会」の広報ともなり日本防火技術者協会ニュース(JAFPEニュース)の一部に掲載。32~33号2回発行した。

• 2016年度は、JAFPE ニュース2回発行を予定する。

## Fire Technology

### Volume52, Issue2, March 2016

■ Special Issue in Fire Hazards in Energy Systems : Georgios Boustras, Guillermo Rein

■ Fire Behaviour of Less-Combustible Dielectric Liquids in a Nuclear Facility : Denis H. Hellebuyck, Patrick van Hees, Tommy Magnusson, Fredrik Jörud

■ Fire Test of Profile Plank for Transformer Pit Fire Protection : Johan Lindström, Michael Försth

■ Theoretical Flammability Diagrams for Oxy-combustion : Tingguang Ma, Michael Larranaga

■ Fire Behaviour and Performance of Photovoltaic Module Backsheets : Piergiacomo Cancelliere, Claudio Liciotti

■ Fire Hazards and Overheating Caused by Shading Faults on Photo Voltaic Solar Panel : Anbu Pandian, Kamal Bansal, D. John Thiruvadigal, S. Sakthivel

■ Experimental Study on the Combustion Characteristics of Primary Lithium Batteries Fire : Mingyi Chen, Yaping He, Chuang De Zhou, Yuen Richard, Jian Wang

■ The Efficiency of Heptafluoropropane Fire Extinguishing Agent on Suppressing the Lithium Titanate Battery Fire : Qingsong Wang, Guangzheng Shao, Qiangling Duan, Man Chen, Yongqi Li

■ Polyamide 6 and Polyurethane Used as Liner for Hydrogen Composite Cylinder: An Estimation of Fire Behaviours : D. Quang Dao, J. Luche, T. Rogaume, F. Richard, L. Bustamante-Valencia

■ Thermal History Resulting in the Failure of Lightweight Fully-Wrapped Composite Pressure Vessel for Hydrogen in a Fire Experimental Facility : L. Bustamante Valencia, P. Blanc-Vannet, D. Domergue, L. Heudier

■ Fire Probabilistic Risk Assessment and its Applications in the Nuclear Power Industry : Clarence Worrell, Christopher Rochon

■ Assessment of the Burning Rate of Liquid Fuels in Confined and Mechanically-Ventilated Compartments using a Well-Stirred Reactor Approach : Tarek Beji, Bart Merci

■ Doorway Flows Induced by the Combined Effects of Natural and Forced Ventilation in Case of Multi-compartments Large-Scale Fire Experiments : Hugues Pretrel, Amine Koched, Laurent Audouin

■ Pulsation Behavior of Pool Fires in a Confined Compartment with a Horizontal Opening : Xiao Chen, Shouxiang Lu, Xiaomin Wang, Kim Meow Liew, Changhai Li

■ Ignition and Flame Propagation of Externally Heated Electrical Wires with Electric Currents : Xiaowei Wang, Hao He, Luyao Zhao, Jun Fang, Jinjun Wang, Yongming Zhang

■ Effects of Air Inlet Configuration on Forced-Ventilation Enclosure Fires on a Naval Ship : Bosi Zhang, Jiaqing Zhang, Xiaomin Wang, Shouxiang Lu, Changhai Li

■ Thermal Breakage of Tempered Glass Façade with Down-Flowing Water Film Under Different Heating Rates : Guangzheng Shao, Qingsong Wang, Han Zhao, Yu Wang, Jinhua Sun

■ Fire Safety of Grounded Corrugating Stainless Steel Tubing in a Structure Energized by Lightning : Bryan Haslam, Donald Galler, Thomas W. Eagar

## Fire Technology

### Volume52, Issue3, May 2016

■ IAFSS Working Group on Measurement and Computation of Fire Phenomena : Bart Merci, José L. Torero, Arnaud Trouvé



■ Flame Spread Monitoring and Estimation of the Heat Release Rate from a Cable Tray Fire Using Video Fire Analysis (VFA) : Tarek Beji, Steven Verstockt, Pascal Zavaleta, Bart Merçi

■ A Virtual Reality Experiment on Flashing Lights at Emergency Exit Portals for Road Tunnel Evacuation : Enrico Ronchi, Daniel Nilsson, Saša Kojić, Joakim Eriksson

■ The Effectiveness of Horizontal Barriers in Preventing Fire Spread on Vertical Insulation Panels Made of Polystyrene Foams : Liang Zhou, Aiping Chen, Xingna Liu, Fudong Zhang

■ Thermal Analysis of Hollow Steel Columns Exposed to Localised Fires : Gonçalo Ferraz, Aldina Santiago, João Paulo Rodrigues, Pedro Barata

■ Experimental Studies on the Fire Behaviour of High Performance Concrete Thin Plates : Thomas Hulin, Cristian Maluk, Luke Bisby, Kamil Hodicky...

■ A Case Study on a Fire-Induced Collapse Accident of a Reinforced Concrete Frame-Supported Masonry Structure : Yi Li, Xinzheng Lu, Hong Guan, Mingjian Ying, Weiming Yan

■ Experimental Procedures Characterising Firebrand Generation in Wildland Fires : Mohamad El Houssami, Eric Mueller, Alexander Filkov, Jan C. Thomas

■ Perception of Occupational Risk of Firefighters in Quito (Ecuador) : Ignacio Rodríguez-Garzón, Myriam Martínez - Fiestas

■ Guidance for the Model Developer on Representing Human Behavior in Egress Models : S. M. V. Gwynne, L. M. Hulse, M. J. Kinsey

■ An Experimental and Numerical Study of Imbalanced Door Choice During an Announced Evacuation Drill : Honglin Mu, Siuming Lo, Weiguo Song, Jinghong Wang, Jinhua Sun

■ Fire Performance of Sustainable Recycled Concrete Aggregates: Mechanical Properties at Elevated Temperatures and Current Research Needs : John Gales, Thomas Parker, Duncan Cree, Mark Green

■ A Mathematical Modeling of the Interaction Between Evacuees and Fire Through Radiation : Sungryong Bae, Hong Sun Ryou

■ Effect of Wind on Fire Whirl Over a Line Fire : Kuibin Zhou, Naian Liu, Xieshang Yuan

■ Residual Strength of Organic Anchorage Adhesive for Post-installed Rebar at Elevated Temperatures and After Heating : Yu Zhang, Guo-biao Lou, Ke-peng Chen, Guo-qiang Li

■ Autoignition of Dead Shrub Twigs: Influence of Diameter on Ignition : Virginie Tihay-Felicelli, Paul-Antoine Santoni, Toussaint Barboni

■ A Study of Wildfire Ignition by Rifle Bullets : Mark A. Finney, Sara S. McAllister, Trevor B. Maynard, Ian J. Grob

## Fire Technology

### Volume52, Issue4, July 2016

■ Special Issue on Operation Tomodachi—Fire Research : Samuel L. Manzello, Sayaka Suzuki

■ Structural Fire Experimental Capabilities at the NIST National Fire Research Laboratory : Matthew Bundy, Anthony Hamins, John Gross, William Grosshandler

■ Critical Factors Governing the Residual Response of Reinforced Concrete Beams Exposed to Fire : Venkatesh K. Kodur, Ankit Agrawal

■ Flexural Capacity of Composite Beams Subjected to Fire: Fiber-Based Models and Benchmarking : Kristi L. Selden, Amit H. Varma

■ Fire Resistance of Timber Panel Structures Under Standard Fire Exposure : Jun-ichi Suzuki, Tensei Mizukami, Tomohiro Naruse, Yasuhiro Araki

■ The Effect of Wind on Burning Rate of Wood Cribs : Sara McAllister, Mark Finney

■ Ignition of Wood Fencing Assemblies Exposed to Continuous Wind-Driven Firebrand Showers : Sayaka Suzuki, Erik Johnsson, Alexander Maranghides, Samuel L. Manzello

■ Experimental Study on Flame Height and Radiant Heat of Fire Whirls : Ritsu Dobashi, Tetsuya Okura, Ryosuke Nagaoka, Yasuhiro Hayashi

■ Fire Spread Caused by Combustible Facades in Japan : Yuhei Nishio, Hideki Yoshioka, Takafumi Noguchi, Manabu Kanematsu

■ Experimental Study on Near-Limiting Burning Behavior of Thermoplastic Materials with Various Thicknesses Under Candle-Like Burning Configuration : Yuji Nakamura, Koki Kizawa, Shohei Mizuguchi, Aki Hosogai

■ Post-Earthquake Fire Performance of Buildings: Summary of a Large-Scale Experiment and Conceptual Framework for Integrated Performance-Based Seismic and Fire Design : Brian J. Meacham

■ Modeling of the Drift and Accumulation of Tsunami-Driven Combustible Objects: Towards Tsunami-Induced Fire Spread Simulation : Tomoaki Nishino, Yugo Imazu

■ Examination of Extinguishment Method with Liquid Nitrogen Packed in a Spherical Ice Capsule : Hiroyuki Torikai, Miho Ishidoya, Akihiko Ito

Fire Technology は隔月に発行されています。なお Journal of Fire Protection Engineering は Fire Technology に統合されました。

<http://link.springer.com/journal/10694>